

# 防災対策推進検討会議中間報告に対する 経済産業省の取組について

平成24年5月  
経済産業省  
商務流通G  
資源エネルギー庁

# 目次

## 1. 生活必需物資等の調達に係る経済産業省の取組

(1) 物資調達に係る諸課題

(2) 課題への対応

## 2. 燃料供給にかかる経済産業省の取り組み

(1) 東日本大震災における燃料供給にかかる諸課題

(2) 課題への対応

参考1. 災害時の生活必需物資の流通体制の整備

参考2. 災害時の物資ニーズの変化

参考3. 東日本大震災時の燃料供給に係る被害と対応

参考4. 東日本大震災における被災地への石油供給実績

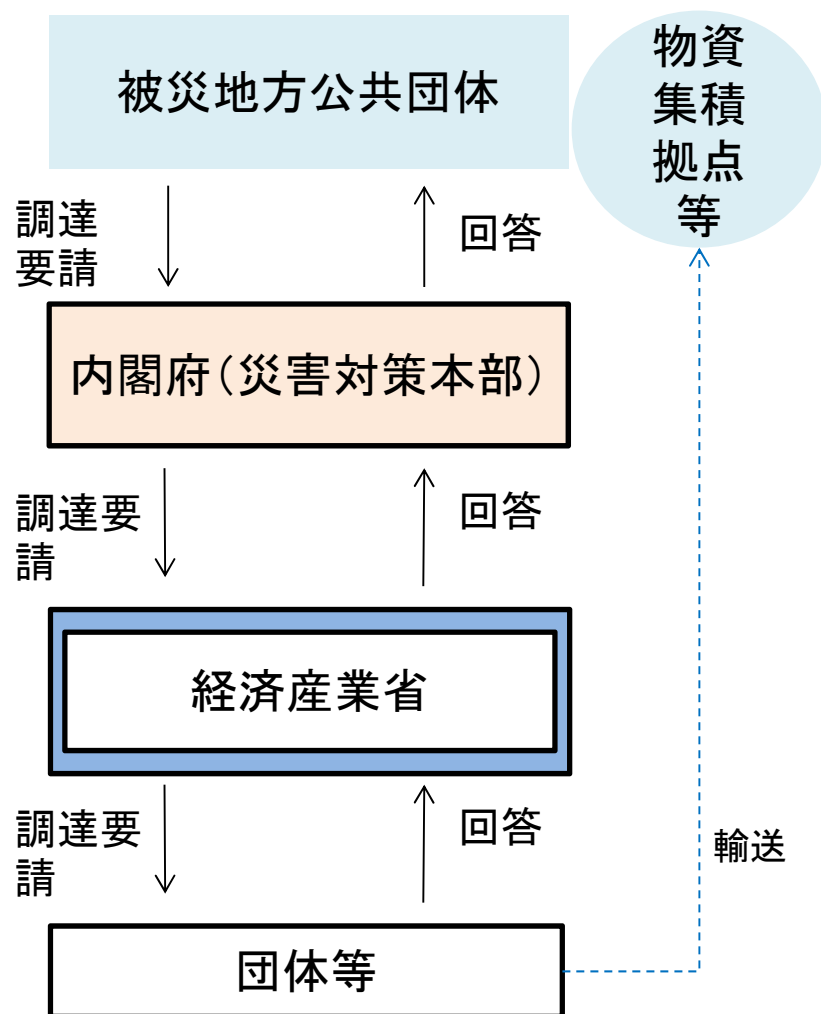
参考5. 災害時における石油の供給不足への対処等のための  
石油の備蓄の確保等に関する法律等の一部を改正する  
法律案(仮称)の概要

# 1. 生活必需物資等の調達に係る経済産業省の取組

## (1) 物資調達に係る諸課題

○東日本大震災での物資調達の取組では様々な課題が生じた。

### 【物資調達業務フロー】



### 【物資調達に係る主な課題】

1. 物資の情報をやりとりするフォーマットの不統一、必要な情報の欠落

2. 従来、想定していなかった物資の要請

3. 物資の輸入等のための迅速かつ柔軟な貿易管理の必要性

4. 生活必需品の調達に必要な市中在庫量等が把握できなかった

#### 【参考】防災対策推進検討会議 中間報告

第3章 ⑤支援物資の円滑で確実な確保・輸送  
 緊急時における生活関連物資の円滑な供給・調達に資するよう、国、地方公共団体、関係事業者がこれらの物資の在庫・販売情報等を共有する取組を促すべき。

# 1. 生活必需物資等の調達に係る経済産業省の取組

## (2) 課題への対応

### ① 物資調達に係る標準フォーマットの策定

必要な情報を適切に盛り込んだ標準フォーマット(出荷連絡票等)を策定。(当省の案を、内閣府に提案中)(23年度3次補正予算)

(出荷連絡票の例)

緊急支援物資輸送 出荷連絡票		出荷者控	(伝送専用-サイン)	(輸送専用-サイン)	(荷主専用-サイン)			
発注・要請元	山口県庁 AA課 (担当名) 山田太郎 (電話番号) 012 - 345 - 6789	輸送者控						
発注日時	2012年 2月 27日 15時 0分	荷主者控						
物資提供者	(企業・組織名) OO株式会社 △△事業所 (担当名) 佐藤太郎 (電話番号) 987 - 654 - 3210	出荷日時	2012年 2月 28日 15時 30分					
納入先	(国番号) 山口県 OOセンター (郵便番号) 山口県OO市XXXXXXXX							
備考 (任意項目)	J0412022710287							
輸送事業者	山口運送	到着予定日時	2014年 4月 5日 8時 0分					
車両番号	宮城111あ1111							
物資内訳								
品目	大分類	中分類	小分類	商品名	数量	消費-使用期限	備考 (商品詳細/ロット数等-逐条有無等を記載)	
1	避難所用品-必要用品	ペーパー用品	子供用おむつ(M)	おむつAAA	12,300枚	55kg	2015年 6月 4日	ロット3枚
2							年 月 日	
3							年 月 日	
4							年 月 日	
5							年 月 日	

### ② 生活必需物資関係連絡先リストの整備

東日本大震災の経験を踏まえ、従来想定していなかった物資もリストに追加した上で、関係団体等との連絡体制を構築。  
(例: パーテーション、携帯用防犯ブザー)

### ③ 緊急時の輸入等に係る対応

東日本大震災への対応として実施した以下のような規制緩和等について、次回の発災に備え、整理・リスト化し、関係機関に共有済み。

- ・外為法上の許可・承認等の迅速化・柔軟化
- ・輸入割当物資について、緊急的に割当を追加
- ・税関との連携(外為法の規制対象となるか否かについて、事前に税関へ通知等) 等

# 1. 生活必需物資等の調達に係る経済産業省の取組

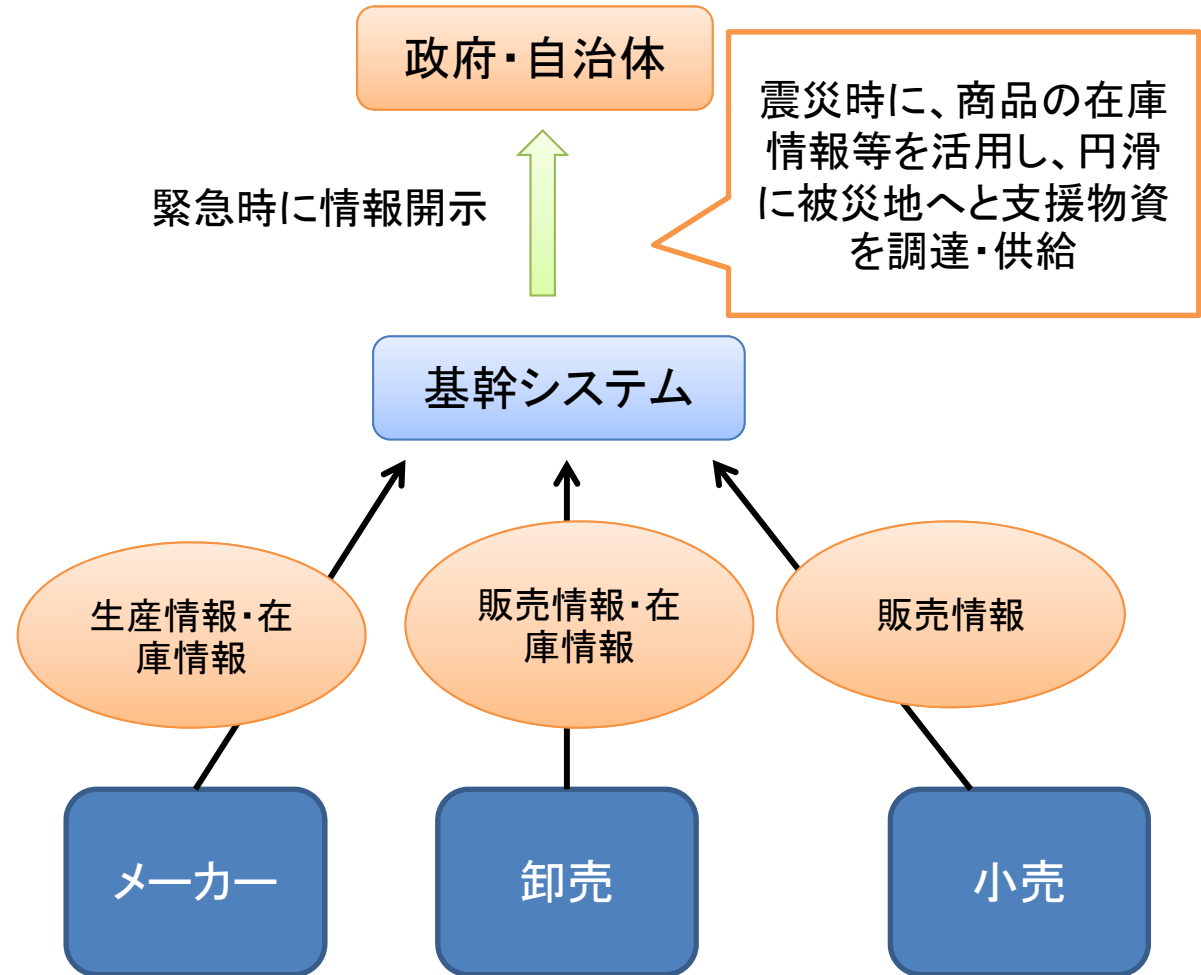
## ④災害に対応した情報共有システム「デジタル・インフラ」

### 【対応と検討状況】

「ライフライン物資供給網強靱化実証事業」  
 (平成24年度予算、8億円)

- 生産・在庫・販売情報等を集約する基幹システムを設け、**緊急時における生活必需品の需給バランス等の把握、緊急支援物資の円滑な調達**のために活用。
- 3年間の実証事業として、初年度は東北・関東を中心に実施し、その後全国拡大を目指す。

＜事業イメージ＞  
 (震災時)



※基盤システム構築費と、各社からのデータ提供用システムの改造費の約1/2を補助

## 2. 燃料供給にかかる経済産業省の取り組み

### (1) 東日本大震災における燃料供給にかかる主な課題

1. 石油・石油ガス供給に係る施設の災害対応能力の強化
2. 事業者間の災害時の共同計画の策定、  
国・地方公共団体及び事業者等との間での事前の情報共有
3. 災害発生後の、救援等の優先度に応じた柔軟な供給
4. 中小石油販売事業者等と自治体との間の災害対応における連携の強化

### 【参考】防災対策推進検討会議 中間報告

1. 災害から生命を守るために
  - ⑤ 支援物資の円滑で確実な確保・輸送
    - 燃料不足対策については、石油・石油ガス供給に係る施設の災害対応能力を強化するとともに、事業者間において災害時の共同計画をあらかじめ策定する等、災害時における石油・石油ガス等の供給体制を整備すべき。また、国、地方公共団体及び事業者等との間で、あらかじめ情報を共有しておくべき。
    - 救援のための人員・物資の輸送について、燃料の優先的割当に留意すべき。
  7. 大災害を生き抜くための日頃からの備え
    - ⑥ 多様な主体の協働により社会の総力を挙げて立ち向かう防災
      - 民間事業者や団体等との協働の観点から、民間事業者等との災害発生時の協定等の締結を促進すべき。なお、その際、地域の中小事業者の活用にも配慮すべき。また、協定文書を取り交わすにとどまらず、共同で訓練を実施するなどの取組がなければ有効に機能しない懸念があることにも留意すべき。

## 2. 燃料供給にかかる経済産業省の取り組み

### (2) 課題への対応

#### 1. 石油・石油ガス供給に係る施設の災害対応能力の強化

→平成23年度第3次補正予算及び平成24年度当初予算にて、石油施設(製油所や油槽所、SS及び石油ガス基地、石油ガス充填所等)に自家発電設備を配備する等の災害対応能力を強化する支援措置を講じる。

#### 2. 事業者間の災害時の共同計画の策定、 国、地方公共団体及び事業者等との間での事前の情報共有

→災害時における石油会社・石油ガス会社の事業者間の連携を共同計画として予め作成させる事等を規定した、改正石油備蓄法案を国会に提出中。

→各石油会社のタンク容量や在庫量などの情報を集約するシステムの構築など、平時より国と石油・石油ガス会社が情報を共有することを促進する。

#### 3. 災害発生後の、救援等の優先度に応じた柔軟な供給

→災害発生時の燃料供給について、東日本大震災発生時の燃料供給にかかる緊急要請への対応を踏まえ、災害発生時の優先度に迅速かつ柔軟に対応できるよう、政府と石油・石油ガス会社等において対応の手順等を詳細に調整し、共有する。

#### 4. 中小石油販売事業者等と自治体との間の災害対応における連携の強化

→石油連盟や各地域における石油商業組合・LPガス協会と地方自治体等との災害時協定等を締結し、その中で各地域の重要施設のタンク容量や給油口の規格などの情報を共有することを促進する。

→平成23年度の「中小企業者に関する国等の契約の方針」において、地方自治体が協定等により継続的な供給体制を構築する場合には、地域の官公需適格組合等を適切に評価し積極的に活用するよう盛り込み、経済産業大臣名で地方自治体の長に対し要請をおこなっている。

## 参考1. 災害時の生活必需物資の流通体制の整備

### 産業構造審議会 流通部会における検討の実施

東日本大震災における物資供給の混乱等の経験を踏まえ、災害時に対応した商業流通の迅速な復旧と物資の円滑な供給の確保を議題の一つとして、本年4月から審議開始。(6月～7月にとりまとめ予定。)

#### ①BCPの策定について

✓災害時に有効に機能し、早期復旧を円滑にする流通業界のBCPのあり方を示し、官民一体となってBCPの見直し等を促進する。

#### ②自治体等との連携について

✓商業流通の早期復旧には流通事業者と自治体等の関係者との連携が必要なため、それぞれの地域における自治体と連携した物資供給のあり方等について検討を行う。その際、国土交通省が取りまとめている災害に強い物流システムの構築に関する地方ブロック協議会とも連携を図る。

#### ③災害に対応した情報共有システムである「デジタル・インフラ」の構築について

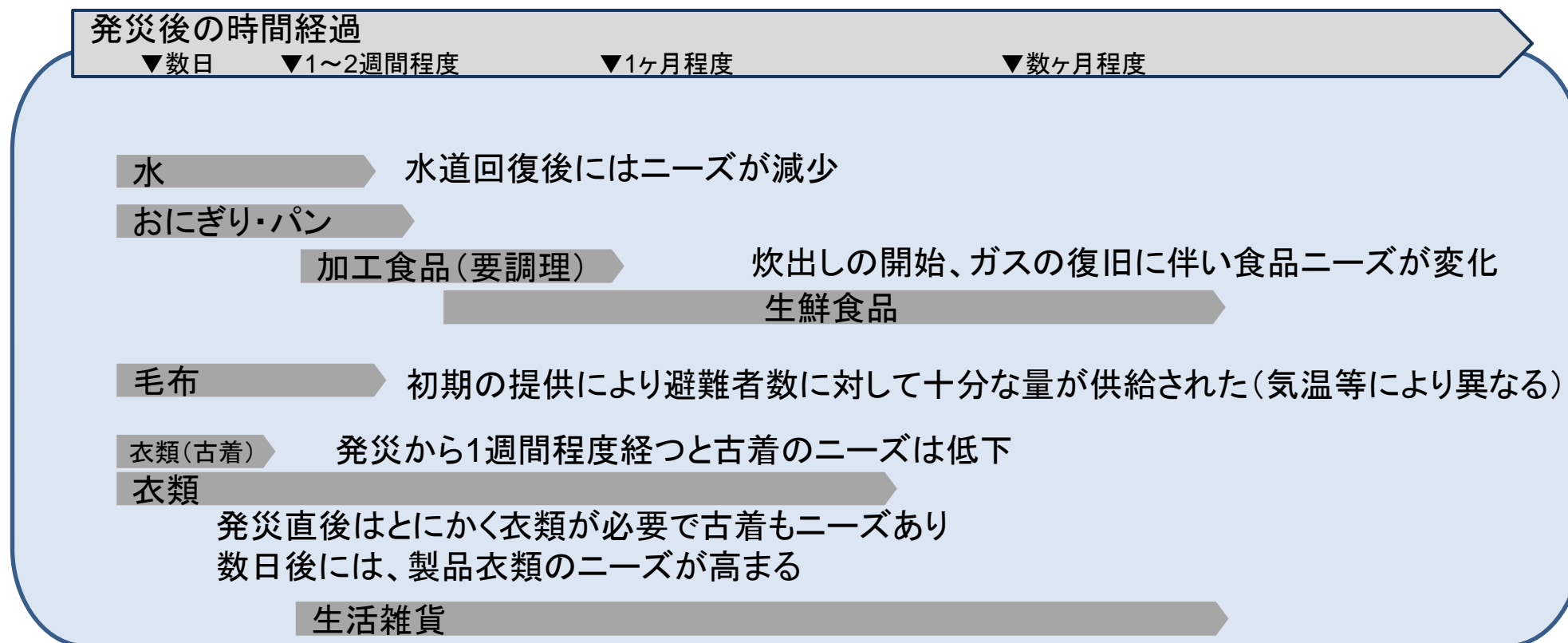
✓災害時に商品の在庫情報等を通じて、被災地への円滑な支援物資の調達・供給を可能とする情報共有システム(デジタル・インフラ)の活用の仕方・制度の方向性を示す。また、今年度にも具体的な実証事業を開始する。(前掲)



## 参考2. 災害時の物資ニーズの変化

- 発災後は、水、食料、衣類、毛布といった物資の需要が多いが、インフラの復旧など時間が経過するとともに、被災者のニーズが多様化していく傾向。
- 多様なニーズに応えるためには、多品種の物資を取り扱う民間流通の復旧も必要。

### 【被災者の物資ニーズの変化】



## 参考3. 東日本大震災時の燃料供給に係る被害と対応

### 震災発生直後

- ✓地震・津波により東北の石油供給の拠点である仙台製油所や塩釜油槽所を始め、太平洋側の石油基地が操業停止。
- ✓全国27製油所のうち東北・関東の6製油所が操業停止し、石油精製能力は震災前の約7割に。また、東北地方の約4割のガソリンスタンドが営業できない状態。
- ✓資源・燃料部より石連に、石油の緊急要請に対応するための共同オペレーションルームの立ち上げを要請。  
被災地からの石油の緊急要請に官民連携で対応
- ✓石油の民間備蓄義務の引き下げ(国内需要の3日分)(3/14)



### 発生後数日後～

- ✓被災地等での供給支障をマクロで解消するため、被災地への石油供給に係る対策を経産大臣から石油業界へ要請。(3/17)
- ✓公正取引委員会より、被災地への救援物資配送に係る調整は、独占禁止法上問題とならないとの見解。(3/18)
- ✓操業停止の6製油所のうち3製油所が順次操業再開。
- ✓石油の民間備蓄義務の引き下げ(国内需要の22日分)(3/21)



### 発生後2週間頃～

- ✓津波によりガソリンスタンドが壊滅状態で、孤立した地域(陸前高田や大槌町等)への供給要請に基づき、ドラム缶等による応急的な石油供給を実施。



### 4月初旬以降

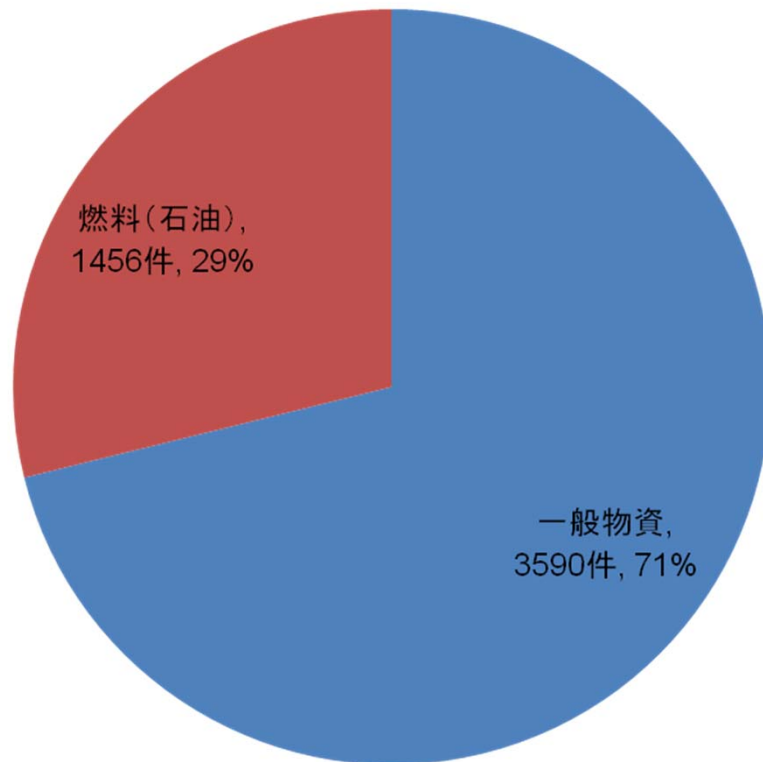
(一部地域を除き)石油供給に係る混乱は徐々に沈静化

## 参考4. 東日本大震災における被災地への石油供給実績

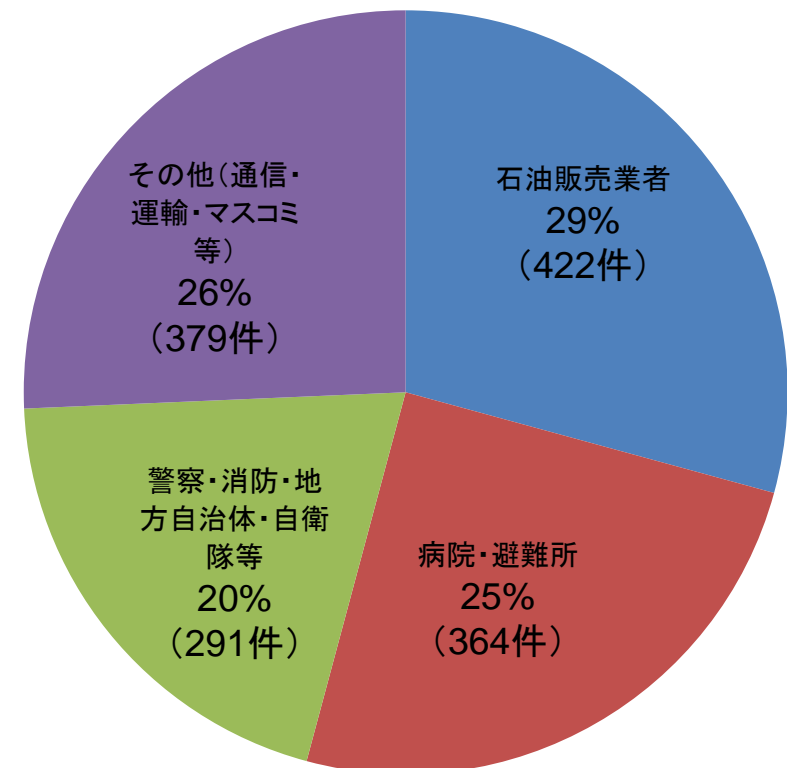
○被災地から内閣府経由の支援要請5,046件のうち約29%の1,456件が石油供給要請。

○当該要請を受け、約1.6万klの石油を被災地向けに供給。

### 【被災地からの要請への対応内訳】



### 【石油供給の要請先内訳】



要請への対応件数: 合計 5,046件  
全要請のうち、約29%が石油供給要請

参考5. 災害時における石油の供給不足への対処等のための石油の備蓄の確保等に関する法律等の一部を改正する法律案(仮称)の概要

平成24年2月10日閣議決定

背景

○東日本大震災を経験し、石油をはじめとしたエネルギーの安定供給を確保するためには、災害時の石油供給体制等の整備を一層強化する必要があることが明らかとなった。

法案の概要

○東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における石油の供給不足への対処等のため、①災害時の石油・LPガスの供給に関する体制の構築、及び、②資源開発に係る支援機能の集約化・整備、等の措置を講ずる。

※石油の備蓄の確保等に関する法律、石油需給適正化法及び独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構法を改正する。

措置事項の概要

1. 災害時の石油の供給に関する体制の構築

(1) 石油備蓄の放出要件の見直し

海外からの供給不足に加え、災害時における国内の特定の地域への石油の供給不足時にも、備蓄石油を放出できるよう、要件を見直す。

(2) 災害時の石油業者の共同体制の構築

一定規模以上の石油業者に対し、共同で、地域ごとに、災害時の石油の供給に関する計画の作成を義務付ける。また、経済産業大臣が同計画に係る措置の実施を勧告するとともに、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の支援業務を定める。

(3) 国家備蓄の対象として石油製品を位置づけることに併せた管理方法の最適化

国家備蓄石油のうち、石油製品については、その管理を石油会社に委託できることとする(同時に、石油製品の国家備蓄を抜本的に拡充。)

	従来の措置 (海外からの供給不足 に対応)	本改正による措置 (災害時における石油の供給 不足時にも対応)
備蓄法	・ 備蓄石油の放出	・ 備蓄石油の放出 ・ 石油の供給に関する計画の実施 ・ JOGMECの支援
需適法	・ 石油の使用制限 ・ 石油の売渡しの指示・命令 ・ 石油の配給の実施	・ 石油の使用制限 ・ 石油の売渡しの指示・命令 ・ 石油の配給の実施

2. 資源開発に係る支援機能の集約化・整備

(1) JOGMECへの業務の集約化

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の石炭資源・地熱資源開発業務等をJOGMECに移管し、出資業務等を追加する。

(2) 産投出資の活用等の支援機能の整備

○天然ガス、金属鉱物、石炭及び地熱に係る支援について、新たに産投出資からの資金を活用(金属鉱物の一部(探鉱)は、現状において産投出資を活用)。

○海洋での金属鉱物の調査の深度制限を見直す。